

目次

はじめに

I 個人の情報処理システム

1-1 情報装備率の視点	10
個人情報システムの特長	10
情報システムと情報装備率	12
情報装備率と記録	14
個人をとりまく記録	16
記録の機能別分類	18
情報と記録の分離	22
1-2 システム P	24
個人情報システムの構成理念	24
計画と管理	26
第3, 第4水準の機能	28
R I S-P	30
M I Sへの積み上げ	34

II システムの思考素材を集める

2-1 市場調査と新聞	38
「切抜き」の機能的な定義	38
新聞後利用の手段	40
「市場研究センタ」をたずねて	44

新聞でイモづるのつるをつかむ	46
新聞記事の本質	48
記事の層別理解と用語の収集	50
2-2 切抜きの専門メーカー	52
切抜き通信社の国際組織	52
切抜き通信社の作業	54
選択調査と切抜き通信社の歴史	56
広告調査と外国発注	58
ユーザーの利用状況と切抜き通信社の特殊業務	62
情報分析と情勢分析：まとめ	66
参考資料 1 切抜き料金のおし方	68
2 調査資料一覧表	71
2-3 報道と切抜き	94
「抜萃のつづり」	94
切抜きから記事へ	98
商業放送と切抜き	100
ライン業務への積極的サービス	104
データ・バンクの作り方	106
個人の実例	108
2-4 標準化の導入	114
工程能力	114
標準化：定義と手順	116
情報処理のポイント	120
情報活用の標準化	122

索引と選択方式	124
仕事と場と野	128
ま と め	130

Ⅲ 外部資料の積極的利用

3—1 新聞の縮刷版とマイクロ版	132
新聞の縮刷版	132
見出しと小項目	136
新聞マイクロ版	142
3—2 国会図書館をたずねて	146
図書館の利用	146
国会図書館の切抜き室	148
切抜き室の利用法	152
新聞閲覧室の利用法	156
業界紙の閲覧	160

Ⅳ 自分で作る切抜きシステム

4—1 基本実技紹介	164
オーソドックスな切抜き技法	164
4—2 新手法の理論	178
系の組み合わせ	178
検索の効率化	180
分類作業の不用化	182
情報と媒体の選択	184

4-3 システム作成手順	186
テストのマーキング	186
実情の分析	188
標題のつけ方	192
(電算機超小型化への革命)	194
記事をコード順に並べる	196
件名標目の見直し	198
4-4 作業要素の説明	200
ハサミ	200
ノリと紙	202
選ぶ・切る	206
付込みとWシート	210
Wシートからニュースラップへ	214
マッチング	218
小さなシステム	220

V 創造と予測への挑戦

5-1 判断とは何か	226
判断の構造	226
成功の条件	230
情報処理のパターンと機械化	234
5-2 創造への挑戦	236
チンパンジーの創造	236
プログラム・ボードという思考	238
高知能と高創造のちがひ	240

アイデアをストックする	242
生産システムの合成	244
新聞からのアイデアの引出し	246
早生まれの機能的評価	248
「物ばなれ現象」ということ	250
5—3 未来予測への挑戦	252
日本の平和を守った富岡式未来術	252
富岡未来学の全体像	256
展望表の構造	260
富岡未来学の応用	262
未来傾向の基本パターン	264
新聞記事に種をひろう	268

VI 切抜きの未来

6—1 マイクロシステムを書斎に持ち込もう	272
マイクロ化の効果	272
MFフォルダー	274
NCKシステム	278
マイクロリーダーの性能	284
カメラと撮影条件	288
システムの編成	292
アパーチュアカードとマイクロ出版	296
6—2 コンピューターを書斎に持ち込もう	298
なぜ書斎にコンピューターを置くか	298
ユニタームとミニコンピューター	300

コンピューター的能力	304
ミニコンピューターの将来性	306
索引	308

